



愛媛県
イメージアップキャラクター
みきやん

令和3年度

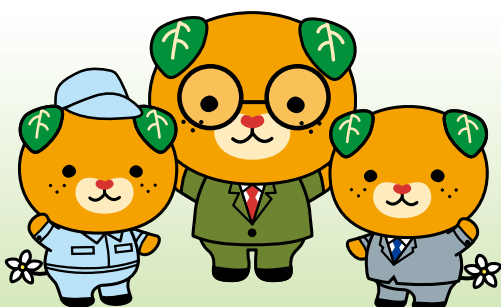
愛媛県

SDGs 推進企業

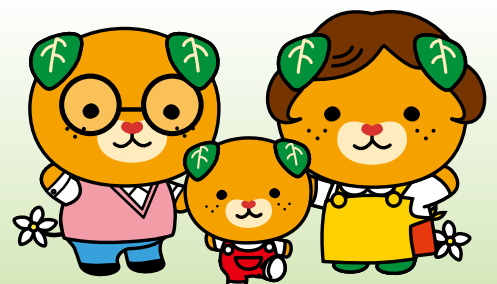
取組事例集



こみきやん



愛媛県



はじめに

SDGsとは、持続可能な開発目標 (SDGs:Sustainable Development Goals) のことで、2015年の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。ジェンダー平等や持続可能な産業化の促進、気候変動対策など、17のゴールから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

企業にとっても、SDGsに取り組むことで、社会課題の解決に貢献できるだけでなく、新たなビジネス機会の創出や資金調達機会の拡大、人材の獲得などにも繋がる可能性があります。

そこで、県では令和3年度から企業向けにSDGs活動の普及啓発を行うため、「愛媛県SDGs推進企業登録制度」を創設しました。

本事例集は、登録制度に登録している企業等の皆様のSDGsの取組みを取りまとめたものです。企業等の皆様がSDGsに具体的に取り組む上で、この事例集を参考としていただければ幸いです。

愛媛県SDGs推進企業登録制度

愛媛県では、SDGsの取組みを行う県内企業等を登録する「愛媛県SDGs推進企業登録制度」を実施しています。

登録制度への登録を通じて、企業等の皆様のSDGs活動が見える化し、SDGs活動を促進するとともに、その活動を対外的に発信していくことを目的としています。

○登録のメリット

- ・登録マークの使用
- ・SDGsの取組みを県HPなどでPR

○登録対象者

愛媛県内に本社または支社等を有し、県内において事業活動を行う法人、個人事業主

○申請の方法

下記URLに、実施要綱、申請書、Q&Aなどを掲載しています。申請書に必要事項を記入いただき、メール又は郵送にて御提出ください。

<https://www.pref.ehime.jp/h30100/sdgs/touroku.html>



CONTENTS

🏆 農業生産法人株式会社ミヤモトオレンジガーデン	P3
🏆 株式会社山全 愛媛営業所	P5
🏆 ジャスティン株式会社	P7
株式会社ニューズ	P9
松竹塗装有限会社	P10
株式会社四国ライト	P11
岡田電機株式会社	P13
白石建設工業株式会社	P14
ABC開発株式会社	P15
株式会社大石工作所	P16
株式会社コスにじゅういち	P17
IHテクノロジー株式会社	P18
佐川印刷株式会社	P19
株式会社ドコモCS四国 愛媛支店	P20
福神汽船株式会社	P21
株式会社輝城	P22
トヨタカローラ愛媛株式会社	P23
株式会社ローソン	P25
みずほ証券株式会社 松山支店	P26
川之江信用金庫	P27
道後御湯 (株式会社 宝荘ホテル)	P29
株式会社ベルモニー	P31
東武トップツアーズ株式会社 松山支店	P33
株式会社日本有機四国	P34
株式会社ダスキン椿	P35
愛媛県SDGs推進企業一覧	P36

農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン

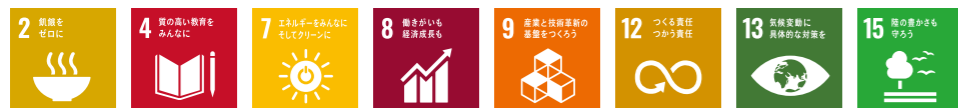


企業概要

代表者 / 代表取締役 宮本 泰邦
業 種 / 農業
設 立 / 平成 26 年 7 月 1 日
所在地 / 愛媛県八幡浜市産業通 2-20
連絡先 / 0894-21-3123

SDGs 達成に向けた取組み

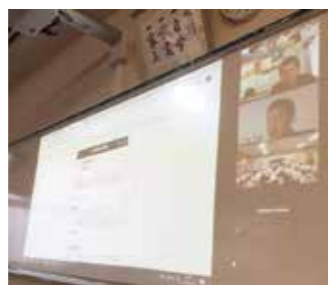
持続可能な農業の実現に向けた、国際認証の推進、農業機械の電動化、新商品開発



1) グローバル GAP 認証の毎年更新を継続

農業の国際規格グローバル GAP 認証の推進は、食品・労働・環境の安全に配慮した持続可能な農業実現に向けた取組みになります。GAP とは Good Agricultural Practice の略で、適正な農業の実践のことです。(グローバル GAP は SDGs の達成に貢献するものです。)

当社は平成 27 年から毎年継続して、維持更新を行ってきました。当社は GAP 認証取得支援システムを開発し、自社だけでなく、地元の川之石高校や南宇和高校をはじめ県内外の教育機関や農家にシステムを提供しています。一緒にグローバル GAP に取り組むとともに、GAP 取得支援システムの利用を通じて、ICT を活用したスマート農業の実践にも取り組んでいます。



2) 農業機械の電動化により石油燃料の 80%削減

これまで当社で使用する農業機械は、化石燃料を使用していました。排気ガスなどの環境に配慮するだけでなく、騒音低減や軽量化や振動抑制などを旨として、主要な農機具である、草刈り機、チェーンソー、耕運機、背負い動噴を電動に切り替えました。



電動草刈り機とチェーンソー



電動耕耘機



電動背負い動噴

3) 地元企業や食材と連携した商品開発、および販売を推進

これまで当社はみかんの新たな価値をつくることに尽力してきました。クラウドファンディングを行い、当社オリジナル調味料である塩みかんを活用して、地元の八幡浜漁協と八幡浜高校とパスタソースを開発しました。さらに、「えひめ技あり鰯プロジェクト」では、八幡浜産のハモの薬味として、当社の塩みかんを採用していただきました。その他にも、県内の食品関連企業 7 社とパートナーシップ協定を締結して、お互いの商品を販売したり、新たな商品開発をする取組みを進めています。



ハモプロジェクト



鯛パスタソース

株式会社山全 愛媛営業所



企業概要

代表者 / 所長 牛尾 研太
業 種 / 総合建設業
設 立 / 昭和 53 年 1 月
所在地 / 愛媛県西条市朔日市 781-10 マルイビル 1 階
連絡先 / 0897-47-1670

SDGs 達成に向けた取組み①

“建設現場発”カーボン・オフセットを通じた持続可能な開発目標 (SDGs) への取組み



株式会社 山全は、一般土木工事・特殊工事・建築工事など、幅広く建設工事を手掛けている総合建設業です。ISO14001 を取得し “自然とのバランスを保ち、未来へ夢を育む” をコンセプトに自然環境とのバランスを考えた工事の施工を提案しながら CO₂ 削減に重点を置いた環境配慮経営に取り組んでいます。具体的な取組みとして、ハイブリッド重機の積極的な活用や、山間部の工事現場から切り出された地元産の間伐材をログハウスとして有効活用した “らく～だハウス” の開発、更には、工事現場で使用した重機から排出された二酸化炭素の排出枠を購入するカーボン・オフセットの実施等を行ってきました。これらの取組みが大きく評価され、平成 27 年には地球温暖化防止活動環境大臣賞を受賞しました。

弊社愛媛営業所として、ひめボス plus⁺ 認定取得や愛媛県 SDGs 推進企業登録、2050 年脱炭素社会・アクション宣言登録を行い、幅広い観点から SDGs 達成に向けて取り組んでいます。最近の取組みとして、愛媛県発注工事の「海保楠 (2) 第 1 号排水機場下部工事」で回転杭施工時における杭打機から排出された二酸化炭素の排出枠を購入し、CO₂ カーボン・オフセットを実施しました。(R3.4.27)

間伐材を有効活用した現場ハウスと工事看板の使用、ハイブリッド重機の積極的な活用とカーボン・オフセットの組み合わせなどにより、建設工事現場で発生する CO₂ 排出量を実質ゼロとしています。



環境大臣表彰



SDGs 達成に向けた取組み②

地域と一体になった加茂川地区の環境保全活動



建設業に携わる事業所として、地域貢献や河川環境維持を目的とし、平成 21 年より現在まで愛媛県西条市加茂川地区において加茂川の堤防沿いの草刈りやごみ分別収集を年 3 回 (毎回 10 名以上の社員が参加) 実施して環境美化活動に貢献しています。(令和 3 年 4 月 24 日、7 月 10 日、9 月 25 日に実施)

愛りバー・サポーターとして、河川環境維持活動を 10 年間継続して行い、愛媛県西条市加茂川地区の堤防河川敷の環境美化に貢献したことで、令和元年 11 月 18 日に愛媛県知事より感謝状が贈呈されました。また、地域への貢献が評価され、平成 23 年 7 月には加茂町自治会長より感謝状が贈呈されました。愛りバー・サポーター活動を続けていく中で、作業中に近隣住民からの感謝の言葉が増え、夏季には冷たい飲み物も提供していただけるようになり、営業所にお礼を言いに来てくれる方も増えてきました。また、毎年 10 月中旬には、愛媛県を代表する一大行事の “西条祭り” が行われており、加茂川堤防沿いは西条祭りの散策コースとなっています。当該活動地区の環境美化活動を通じて地域の方々や観光客に気持ちよく西条祭りを楽しんでもらいたい思いがあり、地域の加茂町自治会と連携して環境美化活動を行っています。

主に環境美化活動の取組みであるが、草刈りやごみ分別収集を定期的に行うことにより、地域住民が安全で快適な生活をおくれる社会づくりにも貢献しています。また、経済面では、観光客に気持ちよく西条祭りを楽しんでもらう、西条市により多くの観光客が来ていただけるよう取り組んでいます。



ジャスティン株式会社



企業概要

代表者 / 代表取締役 種田 宗司
業 種 / 製造業
設 立 / 昭和 35 年 3 月 11 日
所在地 / 愛媛県四国中央市川之江町 3125-3
連絡先 / 0896-58-4455



SDGs 達成に向けた取り組み①

「Seal Demand Gateways」推進 事業活動の国内・海外展開による環境負荷低減



ジャスティン株式会社は、令和 2 年に継続的に取り組んできた SDGs 事業を取りまとめた「SDGs 宣言」を掲げました。令和 3 年に SDGs の更なる推進のために、

「Seal Demand Gateways (= SDGs) になる」

というスローガンを掲げ、HP にも掲載し社内外に発信しました。これは当社が創業来、製造・販売しているパッキン・ガスケットという気体や液体の漏れを防ぐ Seal 材が、地球環境を守る上で積極的な役割を果たしていることを認識し、さらにこれまでの事業活動に加え「地球環境」に対する環境負荷の軽減と「地球環境保全」の継続的実現の目標に向けて、全社を挙げて日々の事業活動を推進するという、当社の SDGs への貢献をわかりやすくスローガンにしたものです。

パッキン・ガスケットの破損による漏れは、お客様の製造ラインを止めてしまうだけでなく、環境にも負荷をかけてしまうため、一刻も早い対応が要求されます。そこで当社では、緊急時でも対応可能な加工システムと配送システムを構築し、最短 15 分での製造を可能にすることで、17 時までの注文であれば即日発送ができるようにしました。これらの技術は、「えひめが誇るスゴ技」として認定を受けています。

また、環境負荷の軽減に貢献できる製品を他社と共同開発しています。不織布・フィルムなどの加工ラインで使われる蛇行修正装置は、メンテナンスフリーで長寿命、高品質・高性能です。超合金製カッターは、硬度や機械強度に優れ、長寿命化・高速生産を得意としています。ともに技術力により、環境負荷を軽減する機械であり、当社はこうした機械装置を国内だけでなく海外にも販売しています。

こうした当社の事業を幅広く知ってもらうため、今年度 HP を刷新、動画も作成し、より幅広いお客様に当社の製品をお届けすることができるように情報発信を強化しました。

現在、国内に 14 の拠点を持ち、3 つのグループ会社と連携して全国のお客様に対応していますが、海外拠点はまだ 1 社であります。中長期的に海外拠点を増やし、世界中のお客様に対して迅速に対応できる当社の体制を活用し、環境負荷の低減を図ることで、SDGs に貢献します。



SDGs 達成に向けた取り組み②

For Sustainable, Be Sustainable みんなで幸せになれるジャスティンという環境づくり



海外展開の第一歩として、令和 3 年度は『外国人材の採用活動強化』に取り組みました。外国人材の採用は、海外で事業拡大するという側面だけでなく、平等で働き甲斐のある職場づくりにも貢献します。当社では、女性の活躍推進、男性の育休取得推進、有給休暇の取得推進、といった取り組みをトップ主導で進めています。

女性の管理職への登用には、30 年以上前から取り組んでおり、管理職にしめる女性比率が高まりました。(課長以上 24%、係長 15%、主任 27%)
営業職の女性も増え、5 名となりました。

男性の育休取得は、令和 3 年 6 月に第 1 号が誕生。これは対象者 1 名中 1 名で達成率 100%です。11 月には、男性育休を行動計画の一つに掲げた『えひめ仕事と家庭両立応援ゴールド企業』の認証も受けました。12 月には社長が全社会議で、こうした実績や、社の方針を発表し、男性の育休取得を奨励するなど、更に取得しやすい環境を整えています。

また、当社には「みんなで一緒に幸せになろうや」というスローガンがあります。ジャスティンという場を通じて、皆が幸せになれるような環境づくりを目指しています。当社では、その幸せの一つを個人の『成長』だと考え、一人一人が成長できるキャリアプランを作成、必要な経験を積むための人事異動を実施しています。業務以外でも教育体制を充実させており、外部研修への参加に加え、毎月のレポート課題もその一つです。新しい本を読む。偉人について調べたり、時事問題について考える。テーマは様々で、人間を大きく成長させる土台をしっかりと作っています。令和 3 年度は 35 名が外部研修に参加、SDGs に関することなど 1 年を通じて課題レポートを提出しました。

そして令和 2 年の健康づくり推進宣言以来取り組んできた、健康推進のための取り組みにより、令和 3 年度、健康経営優良法人の認定を受けました。

当社は、ステークホルダーが当社とかわったことにより得られる幸せの総量が、当社の存在価値であると定義しています。ステークホルダーには、従業員はもちろん、その家族や地域住民も含まれます。当社の価値観や取り組みを従業員の家族や地域住民にも知ってもらうため、令和 3 年度は HP を刷新、ダイバーシティ座談会という形で、社員本人が感じていることを発信。また、災害への備えとして飲料・食料の備蓄を行い、従業員とその家族はもとより、地域住民の避難所として活用していただくことを見据えています。こうした取り組みにより、従業員や家族、そして地域住民の方に安心して生活していただける環境づくりを行っています。



ダイバーシティ座談会



全社会議

株式会社ニューズ

企業概要

代表者 / 代表取締役 土居 裕子
業 種 / 農業・小売り
設 立 / 平成 13 年
所在地 / 愛媛県西宇和郡伊方町河内 1448-1
連絡先 / 0894-38-2165

SDGs 達成に向けた取組み

自社内での完全 6 次産業化による商品開発



自社園地で栽培した商品を自社で製造し、販売することで、自社内 6 次産業化を実施しています。また、自社園地で栽培した温州みかんについて、通常廃棄される皮やヘタなどを全てグラノーラや焼き菓みに活用することで、持続可能な農業・商品づくりを行っています。



松竹塗装有限公司

企業概要

代表者 / 代表取締役 村上 潤
業 種 / 塗装業・建設業
設 立 / 平成 14 年 7 月
所在地 / 愛媛県松山市針田町 56-12
連絡先 / 089-973-7399

SDGs 達成に向けた取組み

研削材を何度も再使用し、産業廃棄物の発生を最小限に抑制する環境配慮型ブラスト工法の導入・施工



橋梁の長寿命化に不可欠な塗装塗替え工事は、その工程において劣化した塗装や錆を剥がし、新しい塗装の下地を作る「ブラスト処理」を行います。この処理は、研削材と呼ばれる小さな硬い粒を圧縮空気により噴射して塗装をはがし、同時に鋼材表面に適切な粗さを付けて塗装の密着性を上げるものです。当社で導入した機械システムは、研削材を何度も再使用することで、この工程において発生する産業廃棄物を最小限に発生抑制するものです。

これまで、現場でブラスト処理を行う際には、橋梁製作時に工場で行われていた製品ブラスト処理に使用する金属系研削材は使用されず、軽くて錆びない鉄構スラグに代表される非金属系研削材が使用されてきました（以下「従来ブラスト工法」とする）。しかし、この従来ブラスト工法には大きな課題がありました。非金属系研削材は硬いが非常にもろいため、1 回の使用で破碎してしまい、塗膜くずとともに全て産業廃棄物として処理していました。その量、塗装を 1㎡剥がすと平均的に 0.8kg ~ 1kg 程度の塗膜くずになるのに対し、研削材の標準使用量は 40kg/㎡以上となり、これらが使用後にすべて処理対象となります。つまり、処理目的物に対し 40 ~ 50 倍の産業廃棄物を発生させていました。また、破碎の際には大量の粉じん発生も伴い、作業環境も悪化していました。

これらの課題を解決するため循環式エコクリーンブラスト研究会に入会、環境配慮型ブラスト工法のシステム・施工方法・粉塵対策方法などの手ほどきを受け、今年度から愛媛県における公共工事での即時使用を実現させ、成果をあげています。



株式会社四国ライト

企業概要

代表者 / 代表取締役 神村 正之
業 種 / 建設業
設 立 / 昭和 52 年 7 月 2 日
所在地 / 愛媛県今治市延喜甲 840 番地 1
連絡先 / 0898-31-8851

SDGs 達成に向けた取組み①

砥部焼不良品のリサイクル材を活用した資源循環型ライン材「媛マルライン」の普及による自転車利用環境整備の促進



産業廃棄物として排出される砥部焼不良品をリサイクル活用した路面標示（ライン材）を開発・製品化しました。埋立処分ゴミの軽減、最終処分場の延命、窯元処分費負担軽減に繋がっています。

愛媛県の推進する自転車利用環境整備においてブルーラインに活用され、従来品に比べ、滑り抵抗値が向上し、ライン上のスリップや事故防止に繋がり、サイクリストに認知、好評を得ており安全に寄与しています。

また、パートナー企業と共同開発により、JIS 認定を取得しました。本製品は、国道・県道等のセンターラインや、横断歩道にも採用され、自社工事はもちろん、同業他社や、県外へ拡販・普及に努め、愛媛県特産品「砥部焼の PR」の一助にもなっています。

今回、令和 3 年 11 月 25～26 日に国土交通省四国地方整備局主催の「建設フェア in 徳島」に出品展示しました。同時開催された建設副産物リサイクル広報推進会議主催「2021 建設リサイクル技術展示会」において優秀賞に選ばれ、四国連絡協議会会長（四国地方整備局長）から表彰をいただきました。

表彰制度の趣旨は公共工事発注者や施工業者の意識啓発、他の一般企業や、エンドユーザーに波及する製品や技術を評価するもので、平成 20 年より始まり、国交省 8 地方整備局単位で毎回 2 社が選ばれており、四国では四国電力グループが平成 22 年度に受賞し、それ以来、2 社目の受賞となりました。



媛マルライン



媛マルライン施工

SDGs 達成に向けた取組み②

会社の塀を利用した分かりやすい SDGs 啓発看板の設置



22 年前（平成 12 年）より、会社隣接する今治市立乃万小学校の学童教育の一環として、通学路に面する外塀に道路標識の分かりやすい説明板を 24 枚（3 カ月ごとに 6 枚交換）設置し、交通安全の意識付けや家庭への普及に繋がっています。

その延長として、令和 3 年 11 月 15 日、新たな SDGs の説明看板を設置しました。学童はもちろん、道行く人々を対象にし、17 の目標をできるだけわかりやすく、身近に取り組める内容を記載して、少しでも SDGs に関心を持ってもらい、教育と啓発に繋がるよう期待を込めています。

今治市様は関心を示され、インスタグラムに取り上げていただきました。下校中の学童は説明看板を見て、楽しんでいる様子もうかがえます。



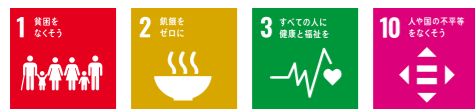
岡田電機株式会社

企業概要

代表者 / 代表取締役 秋山 順
業 種 / 電気工事業
設 立 / 昭和 23 年 6 月 1 日
所在地 / 愛媛県四国中央市三島朝日 2 丁目 20 番 2 号
連絡先 / 0896-23-4188

SDGs 達成に向けた取組み

1 日 10 円募金



慈善活動の広まりなどにより世界の貧困率は低下したものの、いまだに解消には至っていません。貧困と言っても様々な形態があり、収入・資産がないことや飢餓や社会的な差別・排除などが含まれています。あらゆる貧困の解消のための取組みを全て同時に行うことは難しいため、まずは発展途上国などでワクチンが打ちたくても打てない人々への支援として令和 3 年 12 月 1 日から 1 日 10 円の募金を、従業員全員を対象に開始しました。1 日 10 円の募金とした理由は、1 回の募金額を少額にすることにより、一過性の取組みで終わらず継続的な活動にするためです。



白石建設工業株式会社

企業概要

代表者 / 代表取締役 白石 尚寛
業 種 / 総合建設業
設 立 / 平成 27 年 3 月
所在地 / 愛媛県新居浜市久保田町 3 丁目 9 番 20 号
連絡先 / 0897-33-4812

SDGs 達成に向けた取組み

SDGs 目線の女性管理職の育成を目標とした採用活動



建設産業における全体的な女性の中堅社員の割合が低い中、当社では女性幹部の育成を目指し、女性の現場希望者を積極的に採用しています。平成 29 年に初めて新卒の女性が工事部へ希望配属されてから、現在では、女性の現場従事者は 4 名となっています。また、令和 4 年は新卒予定者の中で工事部への希望者は 8 名、うち女性は 3 名と年々女性の比率も増加傾向にあります。社会・経済分野の目標に沿った女性の積極的な採用活動を行うことで、SDGs17 の目標の中の一つである『5. ジェンダー平等を実現しよう』の達成の一歩になると考えています。

今まで圧倒的に男性の多かった現場に女性が参画することで、組織の多様性と活性化が図れることを期待します。また、最近では女性でも作業・操作できるドローン技術などの ICT を活用することで、男性と同等以上の作業をすることが可能となってきています。それが、当社で新規採用において女性の現場希望者が増えている要因の一つだと考えています。

建設産業における女性の積極的な採用は、今までの建設産業に対するイメージを大きく変えることとなります。建設現場も女性が働く職場の選択肢の一つとなることで、従事者が増え、企業が活性化され、そして地域を支えるインフラ整備もより充実し、街全体が潤っていくことが期待されるものと考えます。



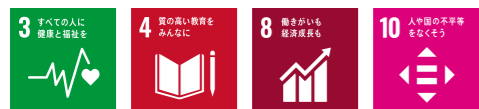
ABC開発株式会社

企業概要

代表者 / 代表取締役 西口 泰宏
業 種 / 建設業・運送業・不動産業・環境事業
設 立 / 平成 17 年 6 月
所在地 / 愛媛県松山市南高井町 1337 番地 2
連絡先 / 089-993-7825

SDGs 達成に向けた取組み

外国人労働者の雇用



SDGs の、外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを目指すべきという観点から、労働者不足という背景もあり、昨年 12 月にフィリピンの方を雇用しました。雇用にあたっては、社宅として快適な住居・備品等を用意し、本人と十分なコミュニケーションを取り、喜んで入社していただきました。今では、舗装工事の一員として現場の皆さんに良い戦力として大歓迎されています。



自社所有社員寮マンション

株式会社大石工作所

企業概要

代表者 / 代表取締役 大石 憲一
業 種 / 製造業
設 立 / 昭和 36 年 4 月
所在地 / 愛媛県新居浜市多喜浜 6 丁目 2 番 45 号
連絡先 / 0897-46-1160

SDGs 達成に向けた取組み

本社工場におけるグリーンファクトリー化プロジェクト



【目的・背景】

令和 2 年 6 月に SDGs 宣言をし、社内で SDGs を意識した取組みを開始しましたが、エネルギー（ゴール No. 7）に関する取組みが当社において弱点であることが明らかとなりました。ものづくりの街新居浜で製造業を営むリーディングカンパニーとして、グリーンファクトリー化を目指すべく「CO₂ 排出削減」をテーマに、本社工場にて現在も取組みを継続しています。

【実施時期および具体的な内容、成果】

- ・令和 2 年 8 月 四国電力(株)による高圧電力診断 <現状把握>
MAZAK 社製ファブリギア（3D レーザー加工機）の待機電力における電力負荷が高いことが判明、同時に高圧電気料金体系の見直しも実施。
- ・令和 2 年 9 月 「CO₂ 排出削減」目標値設定 <目標設定>
令和 2 年下半期における CO₂ 排出量を、上半期対比で 20% 削減を目標に設定。
- ・令和 2 年 10 月 watt now の導入 <可視化>
タブレット端末にて使用電力が確認でき、高圧電力を使用中に予測デマンド値が設定値を超えた場合にアラートで情報を受け取ることが可能となりました。
- ・令和 3 年 1 月 省エネルギー診断の実施 <具現化>
※経済産業省資源エネルギー庁の「地域プラットフォーム構築事業」活用省エネに向けた具体的な改善提案がなされ、実行可能な提案から着手
- ・令和 3 年 11 月 太陽光パネル設置工事開始 <展開>
グリーンファクトリー化を目指すにあたり、再生可能エネルギー導入を促進
本社工場屋根に 1,090 枚の太陽光パネルを設置
- ・令和 4 年 1 月 太陽光発電稼働



工場照明の昼休み消灯



空調設定温度の緩和

株式会社コスにじゅういち

企業概要

代表者 / 代表取締役社長 近藤 基起
業 種 / 金属製品製造業
設 立 / 昭和 39 年 2 月
所在地 / 愛媛県西条市ひうち字西ひうち 8 番 18 号
連絡先 / 0897-53-5111

SDGs 達成に向けた取組み

地域社会への貢献によるインターンシップ生・工場見学の受入及び地域イベントへの参加



地域社会への貢献のもと、地域・地元へ愛される企業づくりを目指して、高校生のインターンシップや小中高生の工場見学を受け入れています。生徒様には、当社が作っている物がどのようなもので、どのようなところに使用されているかをわかっていただいで、将来ものづくりに興味を持ち地元企業に就職していただくことを目指しています。工場見学に来社していただいた生徒様には、作業現場・製造品の見学や質疑応答も行き、自社製作のゲーム機（メダル成型機・イライラ棒）を体験して貰い興味を高める活動を行っています。来社された学校からは、生徒様の温かいメッセージが届いています。また、就職活動の生徒様からは、ご両親や生徒様本人が興味を持って受験していただいています。

工場見学3校、インターンシップ2名、イベント参加1回



東予ものづくり祭



IHテクノロジー株式会社

企業概要

代表者 / 代表取締役社長 幾島 嘉浩
業 種 / 石油関連の技術開発
設 立 / 平成 20 年 8 月 7 日
所在地 / 愛媛県西条市朔日市 556-1
連絡先 / 0897-47-7517

SDGs 達成に向けた取組み

環境負荷低減の石油製品の製造



バイオマスと二酸化炭素を原料として石油製品を製造する

弊社の超微量物質の吸着材触媒の開発の能力を生かしながら、バイオマスと二酸化炭素を原料として環境負荷低減の石油製品を製造できる触媒を開発しています。

背 景：温室効果ガスの二酸化炭素の削減を目指し、二酸化炭素を原料として石油製品を製造することで、既存の自動車、ボイラー等のエネルギーシステムを活用しながら地球温暖化の防止に貢献します。

実施時期：2021年4月～2026年3月。実験期間が短いため、成果はまだ出ていませんが、今後も開発を続け、地球危機の回避への貢献を目指します。



佐川印刷株式会社

企業概要

代表者 / 代表取締役社長 佐川 正純
業 種 / 情報通信業
設 立 / 昭和 27 年 7 月
所在地 / 愛媛県松山市問屋町 6 番 21 号
連絡先 / 089-925-7471 E-mail : general@sakawa.co.jp

SDGs 達成に向けた取組み

若手社員による社内 SDGs 推進プロジェクト「STEP2030」



若手社員の教育の一環としてプロジェクトを立ち上げ、SDGs について自ら学びつつ、自社の資源を活用し、経営理念や社内の取組みと SDGs の関連付けを行い、社員が SDGs について理解を深める活動を展開しました。
取組み時期 令和 3 年 2 月～令和 4 年 6 月

【具体的な内容】

①佐川印刷の SDGs 調べ (4 月～6 月)

- ・アンケート実施
- ・新入社員研修の日報で、SDGs との関連を毎日報告
- ・他社の取組みや HP での公開情報を収集
- ・自社のスタジオを活用して成果を報告



②社内階段掲示の制作 (6 月～)

- ・自社製品を活用した部署横断型の新入社員向け OJT
- ・実践的な仕事の進め方の理解、社内人脈の形成
- ・掲示内容の企画 (キャッチコピー・クイズなど)



③愛媛のはだか麦応援プロジェクト (7 月)

- ・はだか麦をデザインしたツールの提案 (ハッピー・テーブルクロス・マスク)
- ・社内提供 (カレーの会、個人向け配布)
- ・地元スポーツ育成クラブへの寄贈
- ・SNS での情報発信



④地域の子ども向けワークショップ・フィールドワークの提供 (8 月・12 月)

- ・地域活性化事業を活用したプログラムの企画
- ・依頼団体へのプログラム提供 (NPO 法人・学校)
- ・SNS やフリーペーパー「E のさかな」での実施報告



(その他)

SDGs の取組みをテーマとした取材や情報交換に応じました。

社内の取組みと SDGs を紐づけ、愛媛県 SDGs 推進企業登録申請を通じて具体的な目標設定や行動を各管理者層で定義し、社内に周知しました。

株式会社ドコモCS四国 愛媛支店

企業概要

代表者 / 支店長 小野川 雅士
業 種 / 電気通信事業
設 立 / 平成 11 年 7 月 1 日
所在地 / 愛媛県松山市宮西 2 丁目 9-33
連絡先 / 089-923-5050

SDGs 達成に向けた取組み

森林整備活動



自然環境保護活動の一環として、森林整備活動に取り組んでおり、国土緑化推進機構の「緑の募金」制度、「企業の森づくり」サポート制度などを活用して進めています。

具体的には、愛媛県久万高原町の林業戦略課、森林組合の職員の方々の指導を仰ぎながら、間伐・下草刈り等に取り組んでおり、弊社の社員等 20 名程度がボランティアで臨み、年 1 回 (令和 3 年は 10 月 30 日実施) の活動を毎年実施しています (令和 2 年はコロナ感染防止ため中止)。

また、弊社の OB、パートナー企業の方々にも参加いただいております。更に、弊社が掲げている「2030 年カーボンニュートラル宣言」の目標に向け取り組んでいる活動でもあり、日本政府が掲げている 2050 年カーボンニュートラルに向けた取組みとも活動が合致しており、SDGs 推進に積極的に取り組んでいます。



福神汽船株式会社

企業概要

代表者 / 代表取締役社長 瀬野 利之
業 種 / 船舶貸渡業
設 立 / 昭和 31 年 7 月 16 日
所在地 / 愛媛県今治市北日吉町 2 丁目 8 番 55 号
連絡先 / 0898-34-7711

SDGs 達成に向けた取組み

SDGs に取組みながら船舶の運航管理と保守、陸上と海上の人材育成を進め、次世代の海上輸送サービスを目指す



【背景・方針】

当社は令和 3 年 10 月に ESG 推進室を立ち上げ SDGs をベースに ESG 経営をスタートいたしました。開始の動機は「社員船員が一人一人生き生きと働いてほしい」という思いが第一です。

人材こそが会社の最も大切な資産であるからです。働きやすい環境が個人の能力を十分に発揮させてくれるものであり、そのために会社は社員が活躍できる環境、サポート体制を整えるべきです。

福利厚生も充実させワークライフバランスを上手く取ることでまた良いモチベーションで働いていただけたらと思います。健康であることも重要です。社員の家族、船員、船員の家族も含めて大きな家族として皆が幸せを感じられるような会社でありたいと思います。

この理念をベースに企業として健全に発展し、地域、社会、環境に対してできることを私たちの事業を通して一つずつ進めていくことで持続的に世界に貢献し、成長できる会社を目指します。

当社の船舶管理方針は、『「愛しむ心」を持って「船舶の安全運航」及び「企業活動と地球環境の調和」を目指すもの』であり SDGs への思いはその方針とも合致しています。

【働き甲斐のある仕事・職場作り】

取組み

1. 船の安全運航を守るためのデジタル技術を利用した船舶管理（船舶管理業全体をデジタル化）
2. 日本の海技伝承に向けて日本人船員の育成（計 10 人）
3. 海難事故ゼロに向けた安全管理

進捗・成果

1. 船舶管理業務全てのデジタル化には時間がかかりますが、IT チームを結成し、チーム主導で陸上及び管理船にてデジタル船舶管理ソフトの導入を始めています。
2. 日本人船員は 10 人目の採用を達成し育成中です。事故を防ぐための安全管理に常に取り組んでいます。

【健康経営の推進】

取組み

1. 社員の健康管理厳重化（健康診断の項目を 5 倍に）
2. 産業医の採用と社員との定期的な面談
3. 船員の健康診断を陸上職員と同様に

進捗・成果

令和 3 年末までに達成済

【責任ある企業行動】

取組み

1. 脱炭素に向けた新燃料（現在重油→水素など）への切替え準備
2. ステークホルダーに対する定期的な ESG・SDGs 活動報告
3. ISO14001 を維持し持続的に環境への取組みを推進する

進捗

1. 新燃料は長期的目標であり、現在様々な分野を調査・研究中です。
2. ステークホルダーへの報告はまず、弊社の SDGs 方針をお伝えすることから始めています。
3. ISO の年次審査も終了しています。

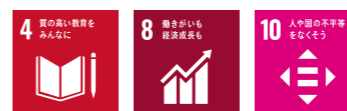
株式会社輝城

企業概要

代表者 / 代表取締役 栗田 雅則
業 種 / 卸小売業・一般建設業
設 立 / 昭和 62 年 3 月
所在地 / 愛媛県松山市北斎院町 480-1
連絡先 / 089-973-1211

SDGs 達成に向けた取組み

SDGs 「だれ一人取り残さない」



平成 28 年より、2 名の障がい者を雇用し、個人の長所短所を活かしながら仕事に取り組んでもらっています。雇用の問題がよく見受けられる中で、健常者を軸に考えられている事が多いですが、弊社では「誰でもできる」を軸に障がい者・高齢者・元受刑者が寄り添い互いに協力しあえる職場づくりをしています。健常者よりも時間もかかり目が離せないことはあれど、実際健常者の中でも時間がかかる人がいるように大したことではない！共にデスクを並べ互いに助け合い教え合う事で、互いが必要とし、認め合う仲間として成り立つ企業へと歩んでいます。その中で、令和 3 年に優秀勤労障がい者努力賞をいただきました。



輝城がテントや機材製造に関する講習会開催
愛媛大学社会共創学部に関する講習会開催
輝城がテントや機材製造に関する講習会開催
愛媛大学社会共創学部に関する講習会開催
輝城がテントや機材製造に関する講習会開催
愛媛大学社会共創学部に関する講習会開催

トヨタカローラ愛媛株式会社

企業概要

代表者 / 代表取締役社長 松田 卓恵
業 種 / 小売業 (自動車販売業)
設 立 / 昭和 41 年 1 月 (パブリカ愛媛)
所在地 / 愛媛県松山市中央 1-16-5
連絡先 / 089-922-3316

SDGs 達成に向けた取組み①

SDGs 推進におけるモビリティ役割の理解促進



《目的・背景》

SDGs 推進の観点で、自動車が果たすべき役割・期待される役割を学んでいただくことで、自動車をより身近な存在として認識し、環境や社会について考える新しいキッカケを作ることがねらいです。

《実施内容・成果》

児童向けに座学と体験を織り交ぜた出張授業形式で実施しました。
※回ごとにカリキュラムは異なります。

カーボンニュートラルの実現に向け、LCA (ライフ・サイクル・アセスメント:製品のライフサイクル [資源採取・製造・使用・廃棄] における環境負荷を定量的に評価する手法) の視点をベースに電動 (BEV/PHEV/HEV) の普及の重要性を学んでいただくと共に、防災の観点からは電動車の給電機能の体験も通じ、社会インフラの役割 (移動する非常時電源) を担っていることを学んでいただきました。また福祉車両や歩行領域モビリティ (立ち乗り三輪) の体感を通じ、交通弱者の移動の自由について SDGs の観点から理解を深めていただきました。

- 8 月 トヨタ未来スクール (中島)
- 10 月 松山市立さくら小学校
- 11 月 愛媛大学教育学部附属小学校
- 12 月 休日子どもカレッジ (松山大学)



SDGs 達成に向けた取組み②

電動車販売の推進



《目的・背景》

カーボンニュートラルの実現に必要な電動車を普及させることがねらいです。

《実施内容・成果》

LCA の視点で二酸化炭素排出量を考えた自動車選び・お勧めができるよう、社内教育を進めると共に積極的な告知によって周知を図りました。
電動車販売比率目標 50% は、実績 50.4% と達成で終了。
22 年は 60% を目指します。

SDGs 達成に向けた取組み③

フードドライブへの参画



《目的・背景》

具体的で身近な活動に社員が加わることで、SDGs 理念の理解を深めることがねらいです。

《実施内容・成果》

県内 10 拠点に活動趣旨を周知し参画を募りました。結果として 80 サイズ段ボール 12 個に相当する食品ロスを防ぐことができています。今後も社内の活動参加者の数を増やしながら継続的に取り組んでいきます。



株式会社ローソン

企業概要

代表者 / 代表取締役社長 竹増 貞信
業 種 / 小売業 (コンビニエンスストア)
設 立 / 昭和 50 年 4 月 15 日
所在地 / 岡山県岡山市北区磨屋町 10-12 交通オアシスビル 8 階
連絡先 / 086-225-5143

SDGs 達成に向けた取り組み

愛媛県の「食」を応援 (県産品活用)



ローソンは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、出荷量が落ち込んでいる愛媛県産品の消費拡大を応援するため、令和 2 年 9 月に県産真鯛を使用したおにぎりを発売しました。また、令和 3 年 3 月には県産はだか麦を使用したおにぎりも発売し、いずれも大変ご好評いただきました。

○令和 3 年 8 月 3 日 (火) に、愛媛県産のはだか麦を使用したおにぎり「裸麦入り 3 種のごまと梅」(税込 125 円) を愛媛県内のローソン 211 店舗 (令和 3 年 6 月末時点、四国中央市は除く) で発売しました。

○さらに、8 月 17 日 (火) には、愛媛県産の養殖真鯛を使用したおにぎり「金しゃり真鯛の塩焼き」(税込 298 円) と弁当「鯛めし (愛媛県産真鯛使用)」(税込 399 円) を中四国地方のローソン 1,543 店舗 (令和 3 年 6 月末時点、山口県下関市の一部地域を除く) で発売しました。



みずほ証券株式会社 松山支店

企業概要

代表者 / 支店長 國崎 久美子
業 種 / 金融業
設 立 / 大正 6 年 7 月
所在地 / 愛媛県松山市千舟町 3-3-1 みずほ銀行松山支店 1 階
連絡先 / 089-921-8141

SDGs 達成に向けた取り組み

セミナー開催



地域のために、金融経済教育に取り組む

コロナ禍で大人数でのセミナー開催が制限される中、各企業向けに本社部署と協力しオンラインの勉強会を適時開催。各個人、企業、団体のそれぞれの悩みに寄り添うセミナーを開催しました。SDGs の 17 の目標のうち、No.1 の「貧困をなくそう」は誰かから与えられるものだけではなく、個人や団体が正しい知識を持つ事が非常に重要であると考えられます。今後も DX を利用し、多くの企業や個人向けにセミナーや勉強会を積極的に行うことで地域の金融リテラシーが向上し、貧困をなくす一助となると考えています。

〈令和 3 年の開催状況〉

- 1 月 26 日 : 個人向けオンラインセミナーを開催。6 名の出席。遠くは北海道からの参加もあり、地域限定ではない DX ならではの取り組みであった。
- 5 月 12 日 : 公益社団法人さま向けの勉強会を開催。東京本社専門部署から 1 名の参加、松山支店から 2 名、先方は事務所から 1 名の参加をいただき、団体さま個別の相談事項を解決に導いた。
- 7 月 30 日 : 一般法人さま向けに東京本社専門部署から 1 名、松山支店から 2 名、ご法人さまは 1 名が参加。
- 12 月 14 日 : 一般企業さま向けに東京本社専門部署から 1 名、松山支店から 2 名、先方は 1 名が参加。事業承継、新規法人開設などの悩み解決のため、継続的な支援を行っている。

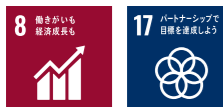
川之江信用金庫

企業概要

代表者 / 理事長 日浦 博基
業 種 / 金融業
設 立 / 昭和 23 年 10 月 9 日
所在地 / 愛媛県四国中央市川之江町 1706 番地 1
連絡先 / 0896-58-1300 E-mail : kawashin@kawanoe.shinkin.jp

SDGs 達成に向けた取り組み

地場産業（伊予水引・金封）支援プロジェクト



【目的・背景】

四国中央市の地場産業である伊予水引は、飯田水引（長野県飯田市）と並ぶ水引の 2 大産地として、日本の水引伝統文化の継承に大きく貢献してきたものの、少子高齢化、人口減少、冠婚葬祭行事の簡素化、安価な海外製品の流入等により、需要は減少傾向にあります。加えて、コロナ禍において、冠婚葬祭をはじめ各イベントの延期や中止により、水引・金封取扱事業者は苦境に立たされています。

かかる状況下、地域金融機関として地場産業の維持・発展に向けた積極的なサポートを行うべく、主として伊予水引金封協同組合と連携を取り、販路開拓等の産業面および伝統工芸品の継承としての文化面の両面から支援を行うこととしました。その支援にあたり、愛媛県（観光国際課・営業本部）よりシトラスリボンプロジェクトを紹介していただき、新型コロナウイルス感染症に関する差別の防止を目的としたシトラスリボンプロジェクトに賛同し、シトラスリボン運動の理解と伊予水引の認知度を向上させる取り組みを開始するに至りました。

【実施時期・具体的な内容】

令和 3 年 4 月から、伊予水引金封協同組合ならびにシトラスリボンプロジェクト本部と連携のうえ、信用金庫のネットワークを活かして、当金庫から全国の信用金庫や中央機関である信金中央金庫等に対し、水引シトラスリボン運動への理解を呼びかけるとともに、各メディア（テレビ・新聞など）や SNS（LINE など）、当金庫のホームページ内で積極的な発信を行いました。さらに当金庫は全国の信用金庫等からシトラスリボンの注文を受け、伊予水引金封協同組合に取り次ぎ、全国津々浦々の本取組賛同者と四国中央市の水引産業界を繋ぐ役割を担いました。

また、当金庫内でシトラスリボンのワークショップ（令和 3 年 4 月 14 日）も行い、役職員の人権意識向上と水引産業界への理解深化を図りました。

【成果】

メディア放映や新聞記事掲載等により多くの反響があり、全国の信用金庫関係者をはじめとする多くの方から賛同をいただき、6 か月の注文受付期間で 1,392 個の注文をいただきました。

さらに、水引シトラスリボンをつけている信用金庫職員を見て、シトラスリボンプロジェクトに関心を持っていただいた方も多く、シトラスリボンの輪が拡大しています。

また、本取組みを通じ、他地域の信用金庫との関係を深めることができました。ここで培われた関係をもとに、信用金庫同士で互いの地域の特産品を取り次いで販売し合う、地元生産者を巻き込んだ取組みを行うなど、現在でもその輪は広がっています。

本取組みの結果、多くの方に水引シトラスリボンを注文していただいたことや、人権意識の啓蒙が図られたこと、多数のメディアに注目していただけたことなど、沢山の成果が得られました。中でも、コロナ禍が収束した後においても生き続けるであろう「水引とシトラスリボンが結んだ縁」こそ、本取組みで得た何にも代え難い成果です。



道後御湯 (株式会社宝荘ホテル)

企業概要

代表者 / 代表取締役社長 宮崎 光彦
業 種 / 旅館ホテル
設 立 / 昭和 31 年 9 月 11 日
所在地 / 愛媛県松山市道後鷺谷町 2-20
連絡先 / 089-931-7111 E-mail : info@dogomiyu.jp

SDGs 達成に向けた取り組み①

持続可能な温泉文化の継承と地域共生へのとりくみ (自然環境に配慮した取り組み)



国内を代表する温泉地である「道後温泉」のお湯の恵みを存分に活用しながら将来も継続して温泉街の賑わいを保つためには、自然環境への配慮や地域との共生を十分に意識した宿の運営（経営）が必要であると感じています。

◆自然環境に配慮した取り組みの具体例◆

- ・宿泊予約客数の増減により道後温泉からの配湯をコントロール（休止・給湯手続き）することで地域の重要な財産である温泉の節水に繋げる運営。
- ・食事は完全予約制。予約時に食事のアレルギーや苦手な食材などの情報をお客様からヒアリングすることで作り過ぎない・食べ残さないフードロス削減のオペレーションの実行。
- ・夕食の一部のメニューではジビエ食材を使用することで鳥獣被害の拡大防止や狩猟者の育成にもつながる取り組みを行っている。
- ・客室露天風呂は各室個別システム導入によりエネルギーの消費を抑える。
- ・館内および外壁ルーバーの照明をすべて LED 化。
- ・客室は個別空調とカードキーによる入退室時にオン・オフ連動など省エネで環境に配慮。
- ・併設する建物屋上に太陽光発電のソーラーパネルを設置しており再生可能エネルギーを有効活用する仕組みを導入。
- ・すべての客室・パブリックのトイレは、節水型洗浄機付便座。
- ・客室シャワーにウルトラファインバブルヘッドを導入し、使用する水量の節水およびシャワー利用後の保温保湿効果を向上。



貯湯タンク



外壁 LED



ソーラーパネル

SDGs 達成に向けた取り組み②

持続可能な温泉文化の継承と地域共生へのとりくみ (地域とのつながりが生み出す賑わいの創出)



◆地域とのつながりが生み出す賑わいの創出◆

- ・道後御湯の建築が松山市内において、将来にわたって守り育ててゆくべきまちなみ・街路地等の景観、もしくは地域の個性や魅力ある景観形成につながっているとして高い評価を受ける。
※第 11 回まつやま景観賞「きらめき大賞」受賞
- ・ホテル周辺の飲食店や店舗、神社仏閣などの地域の魅力をお客様へ配布するアクティビティファイルにまとめて情報を発信。地域全体の需要の創出と魅力の発信を行う。
- ・道後温泉本館が次の世代に受け継がれ、道後温泉を核とする観光振興により、ふるさと松山がさらに発展することを願い、道後温泉本館保存修理オフィシャルサポーター（プラチナサポーター）として寄付支援。
- ・グループホテル 3 館（ホテル椿館・道後 hakuro・道後御湯）で高稼働な集客運営を実現しており地域の賑わいの創出や、地元の雇用の創出に貢献している。



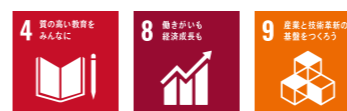
アクティビティファイルの一例



オリジナル磁部焼

SDGs 達成に向けた取り組み③

持続可能な温泉文化の継承と地域共生へのとりくみ (働き方、仕事の仕組みを変えることによる生産性向上)



◆働き方、仕事の仕組みを変えることによる生産性の向上◆

- ・原則毎週定休日（毎週水曜日を含む年間 75 日 / 2021 年度）。
- ・1 人のスタッフが横断的に多くの業務をこなすマルチタスクワークを採用することで個人のマネジメント能力を磨き将来の観光産業界をけん引する人材を育てる。
- ・社員のスキルアップの為の資格取得支援制度。（サービス技能検定、ふぐ調理資格試験、日本酒検定、ソムリエ資格、おもてなし検定など）
- ・ソムリエによるワイン講習や専門講師によるマナー研修などでサービススタッフのレベルアップを図る。

株式会社ベルモニー

企業概要

代表者 / 代表取締役社長 武智 正晴
業 種 / 冠婚葬祭互助会業
設 立 / 平成 3 年 6 月
所在地 / 愛媛県松山市姫原 3 丁目 4-13
連絡先 / 089-911-0980

SDGs 達成に向けた取組み

イベントの記念品、結婚式の引き出物、お葬式の返礼品などに地産品を採用



私たち株式会社ベルモニーは、地域の皆さまとの交わりや、地域の企業・団体さまとの連携というパートナーシップこそが、地元が必要とされる「信頼される良い会社」となる大切な結びつきと考えています。

その具体的な取組みとして、イベントにおける記念品、結婚式の引き出物、お葬式の返礼品などに地産品を採用することに致しました。

弊社が SDGs を宣言したのは令和 3 年 3 月 1 日ですが、それ以前より該当品に一部地産品を取り入れていた実績もあります。

互助会事業部が行うイベントの記念品には愛媛県企業が製造している地球環境に優しいリサイクル商品（ポリ袋、マスク、クラフトボールペン、水切りネットなど）を取り入れています。冠婚事業部が行う結婚式の引き出物は、地産品を採用している商品カタログの使用や結婚式場のアメニティに地産品を用いています。葬祭事業部が行うご葬儀においても返礼品には地元のお茶や製紙商材（のし袋）を用意しています。

地元商品を用いることでお客様には安心・安全を訴求でき、現場の声からも「ご利用いただいた方には喜んでいただいている」と報告されています。また購入先の地元企業ともより関係性を築くことができました。

■イベントで用いている記念品・景品

お客様が必要とされる日用雑貨を採用。水切りネットは空きペットボトルをリサイクルして製造。製造・購入先は全て地元企業にて。



■結婚式の引き出物

地元のお茶を使った商品を採用。引き出物カタログの中にも地元の商品が載っているものを採用。式場内のアメニティにも地産シルク製品を。



■お葬式の返礼品

地産品が用いられた返礼品を採用。愛媛県の新宮茶、久万茶が中心。四国中央市の製紙企業にて金封各種も採用。



東武トップツアーズ株式会社 松山支店

企業概要

代表者 / 支店長 藤原 弘嗣
業 種 / 旅行業
設 立 / 平成 27 年 4 月 1 日
所在地 / 愛媛県松山市三番町 4 丁目 11-6-2 階
連絡先 / 089-941-9231

SDGs 達成に向けた取組み

SDGs Week 2021 (令和 3 年 9 月 21 日(火)～9 月 28 日(火))



当社は SDGs 経営を目指すべく、令和 3 年 6 月より SDGs ワーキングチームを発足いたしました。ワーキングチームでは、SDGs の推進は会社全体で取り組む必要があり、そのためには社員 (2,539 名) への啓発活動が必要不可欠だと考えています。そこで、SDGs が採択された 9 月 25 日 (Global Goals Day) を含む約 1 週間を「SDGs Week」として、会社全体で取り組む 1 週間と位置付けました。

以下の 3 つの目標に取り組み、社員 1 人 1 人の SDGs に対する意識づけにつなげました。SDGs Week 期間中 (営業稼働 5 日間) で、2,000 名の社員がマイボトルを持参し、コピーを 5 枚減らすと、(110g+60g) × 5 日間 × 約 2,000 人 = 1.7t の CO₂ 排出量が削減できました。

①マイボトル持参の推進。

500ml のペットボトル 1 本を廃棄・リサイクルした場合の CO₂ 排出量は 120g。マイボトル 1 本 100 回利用後廃棄した場合の 1 回あたりの CO₂ 排出量は 10g。その差 110g 削減。

②ペーパーレスの推進。

社内でのミーティングや打合せにおける社内資料のプリントアウトゼロを目指したことで、1 回 (1 人) あたり CO₂ 排出量 60g 削減。

③買取回収品の回収。(本、コミック、マンガ、CD、DVD、Blu-ray、ゲームソフト、ゲーム機本体、スーツ、バッグ、靴、ネクタイ、腕時計、キャリーバッグ)

買い取っていただいた代金を、「世界の子どもたちにワクチンを」へ寄付。日本委員会 (JCV) の発展途上国の子どもたちへワクチンを贈る活動に、パートナーとして参画しており、今回も寄付しました。

株式会社日本有機四国

企業概要

代表者 / 代表取締役 大石 隆憲
業 種 / 産業廃棄物処理業・再生資源リサイクル・肥料
設 立 / 昭和 61 年 8 月
所在地 / 愛媛県西条市旦之上乙 303 番地 3
連絡先 / 0898-66-5001 E-mail : info@yuki-shikoku.co.jp

SDGs 達成に向けた取組み

食品残渣の循環サイクル数の拡大 (地域循環共生圏の推進)



その 1 : 『少ない資源、良質でより多くの給食食材へ』

令和 7 年に稼働予定の西条市東部給食センターで出た食品残渣を弊社にて受け入れ、オーガニック肥料に再生する予定で準備を開始しています。再生したオーガニック肥料は、給食センターへ食材を提供する農家で使用していただくことで、資源循環を図ります。

◇背景

- ・令和 7 年…西条市東部給食センター稼働予定
- ・行政と一体となって「西条市版『食の循環サイクル』」構築

◇実施時期 (現在の進捗)

- ・令和 7 年 9 月センター稼働開始 (稼働工程設計中)
- ・センター稼働と同時に廃棄物受入開始準備 (センター稼働時に受け入れる廃棄物の量を検討)

◇期待成果

- ・当社循環サイクル数の増加…「生産消費形態への貢献」
- ・西条市の自治体 SDGs のさらなる進化

その 2 : 『柑橘王国東予版柑橘廃棄物循環へ』

廃棄物処理にかかる多額の費用に悩む柑橘搾汁加工事業者の課題を解決するため、弊社にて廃棄物を受け入れ、有価品へ転換することができるよう実証実験を行っています。

◇背景

- ・東予地区の柑橘搾汁加工事業者 2 社が現在廃棄物処理に困窮している

◇実施時期 (現在の進捗)

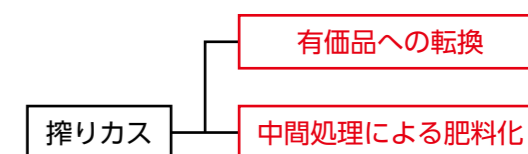
- ・当社にて柑橘種子の発酵実証中

◇期待成果

- ・価値化への期待



ゆず搾りカス



株式会社ダスキン椿

企業概要

代表者 / 代表取締役社長 河野 康弘
 業 種 / サービス業 (お掃除用具のレンタル 販売 ハウスクリーニング 家事代行)
 設 立 / 昭和 57 年 5 月
 所在地 / 愛媛県松山市東長戸 4 丁目 2 番 17 号
 連絡先 / 089-923-0100

SDGs 達成に向けた取り組み

「坂の上の雲」のまちを歩こう 22 総合公園サステナブルウォークへの参画



松山市、南海放送、伊予鉄道主催の『「坂の上の雲」のまちを歩こう 22 総合公園サステナブルウォーク』へ協賛及び運営参画を行いながら健康増進のイベント運営と合わせてダスキンの社会貢献活動「クリーンアップマイタウン」を実施しました。

■主旨：この「クリーンアップマイタウン」という活動はダスキンが平成 18 年から全国で実施させていただいている身近な街と一緒にキレイにするゴミ拾い活動で現在まで 33 万人の方々に 16 トン以上のゴミを拾っていただいているもので、今回は総合公園サステナブルウォークのコース上におちているゴミをウォーキングを楽しみながら参加者の方々に拾っていただきました。

- ①日 時：令和 3 年 11 月 23 日 9：00～15：00
- ②場 所：松山総合公園さくらの丘
- ③目 的：健康増進のイベントとして松山市、南海放送、伊予鉄道様の主催のもと伊予銀行様特別協賛、ダスキンが協賛したイベントです。
- ④結 果：一般参加者数 561 名 収集ゴミ 10kg
ダスキンスタッフ 12 名
- ⑤その他：RNB 南海放送 (12/11 土曜日 16：55～OA) ホット情報にてダスキンの社会貢献活動の PR のオンエアあり

<その他の活動>

毎月 22 日に JR 松山駅前を 6：30～7：10 まで清掃活動 5 人～10 人で 40 年継続して行っています。

★ JR 四国様より 感謝状をいただきました。



愛媛県 SDGs 推進企業一覧

番号	企業・団体等名	所在地	番号	企業・団体等名	所在地
1	東武トップツアーズ(株) 松山支店	松山市	41	ABC 開発(株)	松山市
2	(株)大石工作所	新居浜市	42	(株)LIHO ライジング	新居浜市
3	(株)四国ライト	今治市	43	福神汽船(株)	今治市
4	(株)輝城	松山市	44	(株)あわしま堂	八幡浜市
5	松竹塗装(有)	松山市	45	(株)ドコモ CS 四国 愛媛支店	松山市
6	四国竹林塗装工業(株)	新居浜市	46	(株)山全 愛媛営業所	西条市
7	(株)コスにじゅういち	新居浜市	47	大王製紙(株)	四国中央市
8	トヨタカローラ愛媛(株)	松山市	48	(株)さかい総合保険事務所	松山市
9	(株)ニューズ	伊方町	49	(有)エントロピー	松山市
10	キャリア・サポート(株)	松山市	50	(株)二神組	松山市
11	川之江信用金庫	四国中央市	51	太平ビルサービス(株) 松山支店	松山市
12	(株)ホーム設備	松山市	52	(株)ファミリーマート 西日本エリア本部 四国リージョン	松山市
13	(株)真鍋組	今治市	53	加地電設(株)	西条市
14	(株)イクシオ	松山市	54	(株)よしだ	新居浜市
15	(株)日本有機四国	西条市	55	三井住友海上火災保険(株) 愛媛支店	松山市
16	阿川食品(株)	伊予市	56	住友生命保険相互会社 新居浜支社	新居浜市
17	日本生命保険相互会社 松山支社	松山市	57	青木電気工業(株)	松山市
18	(有)シグマ企画	西条市	58	(有)湯き国	松山市
19	(株)ダスキン椿	松山市	59	(有)ウエコー	松前町
20	農業生産法人(株)ミヤモトオレンジガーデン	八幡浜市	60	(株)中温	松山市
21	(株)フラスコ	西条市	61	西日本電信電話(株) 四国支店	松山市
22	(有)福田瓦工業	松山市	62	森実運輸(株)	新居浜市
23	(株)宝荘ホテル (道後御湯)	松山市	63	四国加工(株)	新居浜市
24	(株)Saku Saku	西予市	64	コンフォートホテル松山	松山市
25	あいおいニッセイ同和損害保険(株) 愛媛支店	松山市	65	(株)CPI	松山市
26	(株)ベルモニー	松山市	66	(株)建設マネジメント四国 松山営業所	松山市
27	(株)海栄館 ホテルアジュール汐の丸	今治市	67	(株)建設マネジメント四国 大洲営業所	大洲市
28	ジャスティン(株)	四国中央市	68	(株)ビューティー・セレクト	四国中央市
29	ヤマセイ(株)	松山市	69	井原工業(株)	四国中央市
30	岡田電機(株)	四国中央市	70	ゼロハウス(株)	四国中央市
31	宗教法人 法華寺	今治市	71	重松兄弟設備(株)	松山市
32	(株)ローソン	松山市	72	リコージャパン(株) 愛媛支社	松山市
33	みずほ証券(株) 松山支店	松山市	73	(株)ライアル	松山市
34	佐川印刷(株)	松山市			
35	(有)タカヨシ工業所	西条市			
36	IH テクノロジー(株)	西条市			
37	東京海上日動火災保険(株) 愛媛支店	松山市			
38	奥道後国際観光(株) 奥道後 壱湯の守	松山市			
39	白石建設工業(株)	新居浜市			
40	(株)曾我部鐵工所	新居浜市			

※申請受付順

※令和 4 年 3 月 17 日時点





「愛媛県SDGs推進企業」に関するお問合せ

愛媛県経済労働部産業雇用局産業政策課 経済企画グループ
〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4番地2
TEL / 089-912-2475 FAX / 089-912-2259



令和4年3月発行



ダークみきやん